

# 汚染堆肥処理方針は

**A** 国の方針を基本に決定



瀧尻行雄議員

セシウム汚染堆肥の基本処理方針が二転三転したため、町民の行政不信が増大した。

県・一市二町・頓原酪農協・JA雲南を中心にした対策会議が非公開で重ねられたが、内容が公表されないため、町民は不安に思っている。せめて関係した地域には、心ある説明を行うべきだ。

山碕英樹町長

放射能汚染堆肥の処理については町民の皆様は御心配をかけ、申し訳なく思っている。

町としては、国の方針をもとに処理方法を定めることにしており、現在詰めを行っている。一定の方向付けを行うことから説明したい



地元への説明会

※町は、畜産廃棄物処理法を根拠にJA雲南に対し一時保管を求めることに決定した。瀧尻議員の一般質問の当日より、関係自治会へ処理について説明会を開始している。

# 町政を問う 一般質問

3月定例会

## 脱原発の推進を

**A** 縮小の方向を望む



伊藤好晴議員

東日本大震災による福島原発事故が起きてから間もなく1年経過するが、政府と原子力業界は重大事故への備えをしていなかった。

定期点検中の島根原発がすべて停止しても停電が起きる可能性はない。本町として脱原発の方向を明らかにすべきと考えるがどうか。

山碕英樹町長

原発については、穏やかに縮小の方向を進めることができれば良いと思っている。

本町としては、今後は緑の分権改革などを通じて、太陽光や木質バイオマスなどの既存エネルギーを活用するための検討をしていく。



島根原子力発電所

## 農業後継者育成急げ 各種制度活用し対応

**A** 各種制度活用し対応

農業後継者育成を本気で取り組まなければいけない。本町農業の最前線は60歳以上の方々であり、10年・20年先を考えた方向づけが急務だ。

農業青年育成方法を再検証し、本町の将来にかなげたいがどうか。

山碕町長

本町の農業後継者を育てる研修パターンは、これまで各種あった。

本町では平成22年度に農林業定住研修制度を設け、Uターン者の就業研修に努力している。

国は、平成24年度から青年新規就農者を2万人定着させる総合的支援事業を実施する。

県やJAと連携し、また地域資源情報バンク制度なども十分活用して、農業後継者育成に努める。



## 後期高齢者医療保険制度の廃止を 今後の動きをみる

**A** 今後の動きをみる

後期高齢者医療保険制度について保険料の見直しがあり、平均保険料が4月から引き上げられる。

私は、同制度は廃止すべきと考えているし、消費税増税と社会保障費削減という「一体改革」は撤回させるべきだと思うが。

山碕町長

待ったなしで廃止せよという発言だが、この制度を廃止をすれば、今後新たな不公平感が予想されることや、システム整備に多額の費用を要するなど、さまざまな問題を抱えている。

今後、議論の推移をみる中で、国に対して必要な要望を行う。

## 戸別所得補償制度の維持を 体制維持できる制度を求め

**A** 体制維持できる制度を求め

民主党政権がマニフェストの内容を次々と投げ捨てる中で、農業者の戸別所得補償制度はかろうじて残っているが、民主・自民・公明の3党は見直し協議に入る動きだ。

このまま進めば、本町における農家経営は成り立たなくなると思うが。

山碕町長

規模拡大に限度がある本町は、農業イコール集落維持活動という側面もあり、農家切り捨てや人口の流出につながってはならない。

見直しにあたっては、中山間地域の農業・農村体制が維持できる制度として進化していくよう、国に求めていく。



農業青年研修風景



赤来&頓原中学校合同での修学旅行

## 柔道授業は安全か 安全性を最優先に

**A** 安全性を最優先に

平成24年度から体育の授業に武道・ダンスを取り入れることになった。頓原中学校が柔道、赤来中学校が剣道を選択したが、柔道の安全性が問われている。

本町ではどのようにして子どもたちの安全を図ろうとしているのか。

安部 巨 教育長

数年前から柔道や剣道を体育の授業で取り組んできている。

24年度以降は各学年8時間というところで、ほぼ2学期に集中して行うと聞いているが、生徒の安全性を最優先に考えるよう指示をしている。

